

和泉市久保惣記念美術館

コレクション企画展(常設展) 江戸のポップカルチャー「浮世絵」ー江戸から現代へー

和泉市久保惣記念美術館では令和8年2月8日(日)～令和8年3月22日(日)の期間で、常設展「江戸のポップカルチャー「浮世絵」ー江戸から現代へー」を開催します。

江戸庶民文化の花形といえる浮世絵は、蔦屋重三郎などの版元と喜多川歌麿や東洲斎写楽などの絵師たちによって、大きな流行をうみだしました。その後をうけて歌川広重や歌川国芳などの絵師たちもそれぞれの得意ジャンルを確立し、幕末から明治にいたるまで浮世絵の人気は衰えませんでした。今回の展示は、19世紀に活躍した浮世絵師たちの新奇性や目新しさを感じさせる作品を中心に構成します。あわせてしりあがり寿による「ちょっと可笑しなほぼ三十六景」のシリーズから「むずかしいグリーン」など、浮世絵を現代のアーティストやクリエイターたちがリライトした作品も展示します。本展覧会と併設して新館西洋近代美術室では、フィンセント・ファン・ゴッホ「耕す人」、ポール・ゴーギャン「座る裸婦」などを展示します。

■主な展示作品

- ・「富嶽三十六景 甲州犬目峠」 葛飾北斎
- ・「ちょっと可笑しなほぼ三十六景 むずかしいグリーン」 しりあがり寿
- ・「相馬の古内裏」 歌川国芳
- ・「相馬の古内裏～MADだヨ！全員集合～」 マッド・バーバリアンズ
- ・「耕す人」 フィンセント・ファン・ゴッホ
- ・「座る裸婦」 ポール・ゴーギャン

■開催概要

[展覧会名] コレクション企画展(常設展)「江戸のポップカルチャー「浮世絵」ー江戸から現代へー」

[会場・会期] 和泉市久保惣記念美術館：2026年2月8日(日)～2026年3月22日(日)

[休館日] 月曜日(ただし2月23日(月・祝)は開館し、翌火曜日休館)

[開館時間] 午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

[入館料] 一般500円 高・大生300円 中学生以下無料

■その他

展示解説：2月21日(土)、3月15日(日)

見所情報など詳細



<https://www.ikm-art.jp/tenrankai/2025/03/post-39.html>



「富嶽三十六景 甲州犬目峠」 葛飾北斎



「ちょっと可笑しなほぼ三十六景 むずかしいグリーン」 しりあがり寿

<お問い合わせ先>

和泉市久保惣記念美術館 電話：0725-54-0001